

## 式 辞

百道の浜風から少しづつ春の訪れを感じる今日の佳き日、PTA会長、同窓会会長をはじめ多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、平成三十一年度福岡県立修猷館高等学校入学式をかくも盛大に挙行できますことは、新入生の皆さんはもとより私ども職員一同の大きな喜びとするところでございます。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

保護者の皆様、誠におめでとうございます。

新入生の皆さんは、おそらく人生で初めての試験ともいべき入学者選抜試験にみごとに合格し、本日、晴れて本校の生徒として入学を許可されました。

本校は、「世のため 人のため」の精神のもと、福岡県に留まらず、日本、世界で活躍する多くの卒業生を輩出してきました。また、地域においても絶大な信頼をされる学校として、創立二百三十五年をむかえる伝統校です。

そして、この学舎まなびやで、私たちは皆さん一人一人の可能性を最大限に引き出し、二十一世紀の日本を担い、国際社会で縦横無尽に活躍する人間を育成することを目指しています。

皆さんの高校生活のはじめにあたり、日本の実業家で、もと三菱化成株式会社社長の古川昌彦ふるかわまさひこさんの言葉で、私の大好きな言葉を贈りたいと思います。

「クヨクヨ考えていたら、前向きな意欲を失う。成功するまで次から次へ挑んでいけばいい。成功するまで挑めば失敗などない。」

これは、一度の失敗ぐらいで夢や希望を失ってはいけないということをしるかにポジティブに考えて言われた言葉なのだと思分なりに解釈しています。

人は、ある時は物事を真摯に受けとめ、ある時は大らかに受けとめていく柔軟さが必要であり、常に自分を見失わずに進んで欲しいという願いが込められていると思います。

中学時代に勉強ができた。スポーツができたという生徒が多いと思います。本校は、中学時代に何かしらリーダー的存在であった生徒が多く入学してきます。ついつい自分と他人とを比較して、一喜一憂することが多くあるうかと思えます。しかし、それはやめたほうがいい。

本校では、他者比較をせず自己比較をして過ごして欲しいと切に願っています。君たち一人ひとり、本日、本校に入学を許可された個性あふれる素晴らしい人達です。それだけ私たち職員が認めている生徒達です。どうか、失敗を恐れず、夢にむかって果敢にチャレンジして欲しい。そして自分自身を偽ることなく自分に正直に向き合って欲しい。

もし、困ったことがあれば、先生方に相談したり、友人と語りあかして欲しい。必ず大きな示唆を得ることが出来ます。そして明るく青春を謳歌してください。

では、日ごろはどうすればいいのか。まずは、目の前のことをしっかりと見つめて一歩ずつ前に進むことです。このことは、私自身も常に思っています。いくつになっても迷い悩むことがあるものです。しかし、そんな時こそ目の前の課題をコツコツと解決していくことが重要で、そのことに没頭しているといつしか時間ときが解決してくれ、得てして良い結果を招くことがあります。

そして、その結果、皆さん一人一人が持っている夢をかなえることができると思います。高校入学を機に、今一度、夢に向かって情熱を持って毎日を青年らしく生きていこうと、自らを奮い立たせてください。

どんな事にも成功することもあれば、失敗することもあります。成功ばかりする人生などありません。失敗したり、落ち込むことがあってもいいのです。それが普通なのだから。

しかし、時がたてば、また夢に向かつて立ち上がってください。立ち上がることは君たちの使命です。そして私たち職員及び修猷館の学校文化はそれを見守り励ます力を持っています。どうか自分自身の困難から逃げずに挑み続ける人でいてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は誠におめでとうございませう。

高いところからではございますが、一言ご挨拶申し上げます。

本日から、私ども、修猷館高校の職員一同、誠心誠意お子様の教育に取り組んで参る所存でございます。お子様の善き成長を願い、学校と家庭がお互いに協力し合って教育にあたるのが肝要であると存じます。どうか、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

それでは、新入生の皆さん、修猷生として洋々たる未来への第一歩を踏み出してください。

平成三十一年四月九日

福岡県立修猷館高等学校 第三十二代館長 高島孝一